

NYマーケットレポート (2021年2月17日)

2021年2月17日 (水)

アジア主要株価指数	終値	前日比	年初来%
日経平均	30,292.19	-175.56	10.38%
ハンセン指数	31,084.94	+338.28	14.15%
上海総合	休場		#VALUE!
韓国総合	3,133.73	-29.52	9.06%
豪ASX200	6,885.22	-32.05	4.53%
シンガポールST	2,920.43	-14.91	2.69%
インドSENSEX	51,703.83	-400.34	8.28%

* 中国市場は春節のため休場

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	105.88	106.22	105.78
EUR/JPY	127.50	128.46	127.32
GBP/JPY	146.80	147.57	146.43
AUD/JPY	82.06	82.29	81.76
EUR/USD	1.2042	1.2110	1.2023
BRL/JPY	19.465	19.600	19.374
RUB/JPY	1.427	1.436	1.418

欧州主要株価指数	終値	前日比	年初来%
英FT100	6,710.90	-37.96	3.88%
仏CAC40	5,765.84	-20.69	3.86%
独DAX	13,909.27	-155.33	1.39%
スペインIBX35	8,122.70	-31.00	0.61%
イタリアFTSE MIB	23,178.56	-262.25	4.25%
トルコ・イスタンブール100	1,540.59	-2.23	4.33%
ロシアRTS	1,462.35	-32.23	5.40%
南ア全株指数	67,110.07	-116.99	12.96%

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1772.80	-26.20	-6.68%
NY 原油	61.14	+1.09	25.72%
CBOTコーン	550.75	+1.00	13.97%
CRB指数	188.679	+1.012	12.44%
ドル指数先物	90.927	+0.418	1.10%
VIX指数	21.50	+0.04	-5.49%

米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	31,613.02	+90.27	3.29%
S&P500	3,931.33	-1.26	4.67%
NASDAQ	13,965.50	-82.00	8.36%
南北米主要株価指数	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	18,374.78	-117.94	5.40%
メキシコ・ボルサ指数	45,061.95	+363.36	2.26%
ブラジル・ボベスパ指数	120,355.79	+927.07	1.12%

*一部暫定値

Crypto Currency	本日	前日
CME Bitcoin(先物・期近)	52720	48810
Ripple(XRP)【BSTP】	0.550	0.505
Ethereum【BSTP】	1853.04	1753.38
Bitcoin Cash	726.42	683.75

オセアニア国債利回り	本日	前日
オーストラリア10年債	1.406%	1.326%
ニュージーランド10年債	1.535%	1.443%
日本国債利回り		
2年債	-0.107%	-0.112%
10年債	0.099%	0.085%
30年債	0.690%	0.679%

2/18 経済指標スケジュール
09:30 【オーストラリア】1月失業率
09:30 【オーストラリア】1月雇用者数
09:30 【オーストラリア】1月労働参加率
11:00 【ニュージーランド】1月非居住者国債保有率
13:00 【日本】1月首都圏新規マンション販売
15:00 【日本】1月工作機械受注
16:00 【スイス】1月貿易収支
17:30 【香港】1月失業率
17:30 【スウェーデン】1月消費者物価指数
18:00 【ポーランド】1月生産者物価指数
20:00 【トルコ】政策金利
22:30 【米国】新規失業保険申請件数
22:30 【米国】失業保険継続受給者数
22:30 【米国】1月輸入物価指数
22:30 【米国】1月住宅着工件数
22:30 【米国】1月建設許可件数
22:30 【米国】2月フィラデルフィア連銀景況指数
22:30 【カナダ】1月住宅価格指数
00:00 【欧州】2月消費者信頼感
00:30 【米国】EIA天然ガス貯蔵量
01:00 【米国】EIA原油在庫
01:00 【ロシア】1月失業率

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.368%	-0.348%
英国 10年債	0.572%	0.621%
フランス 10年債	-0.130%	-0.120%
イタリア 10年債	0.590%	0.570%
スペイン 10年債	0.290%	0.290%
米国債利回り		
2年債	0.103%	0.119%
10年債	1.270%	1.314%
30年債	2.037%	2.092%

2/18 主要会議・講演・その他予定
・ブレイナードFRB理事 講演
・アトランタ連銀総裁 講演
・米30年TIPS債入札
米第4四半期決算～ウォルマート、ファーストエナジーなど

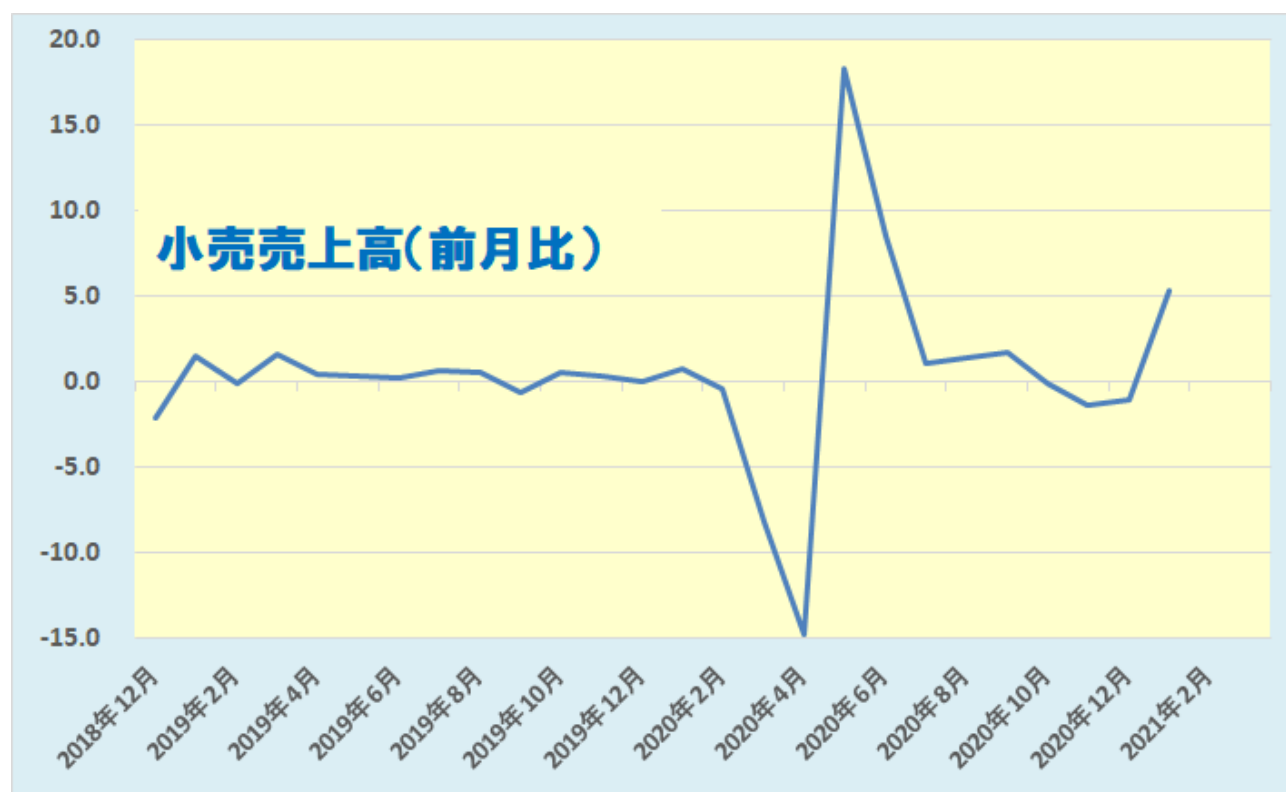
NY 市場レポート（前日 22 時 00 分～午前 6 時 30 分まで）

主要な米経済指標の結果

1 月小売売上高（前月比） 5.3%（予想 1.0%・前回 -0.7%⇒-1.0%）

1 月小売売上高[除自動車]（前月比） 5.9%（予想 0.9%・前回 -1.4%⇒-1.8%）

1 月の米小売売上高は、市場予想を大幅に上回り、4 ヶ月ぶりのプラスとなった。家具が 12.0%（前月 -0.7%）、電気製品が 14.7%（-6.5%）、建設資材が 4.6%（-0.1%）、食品・飲料が 2.4%（-1.4%）と軒並み大きく上昇し、百貨店が 23.5%（-3.7%）、無店舗小売りが 11.0%（-7.3%）と大きく伸びた。ある米当局者は、新型コロナウイルスの感染拡大に対する景気刺激策が要因との見方を示した。



データを基に SBILM が作成

1月生産者物価指数（前月比） 1.3%（予想 0.4%・前回 0.3%）

1月生産者物価指数（前年比） 1.7%（予想 0.9%・前回 0.8%）

1月の米生産者物価指数は、市場予想を大きく上回り、9ヵ月連続の上昇で、上昇幅では2009年12月の集計開始後（集計法を改定）で最大となった。前年比でも上昇幅は昨年1月以来の大きさだった。財は1.4%（前月1.0%）となり、食料品が0.2%（-0.2%）、エネルギーが5.1%（4.9%）。サービスは1.3%（-0.1%）だった。

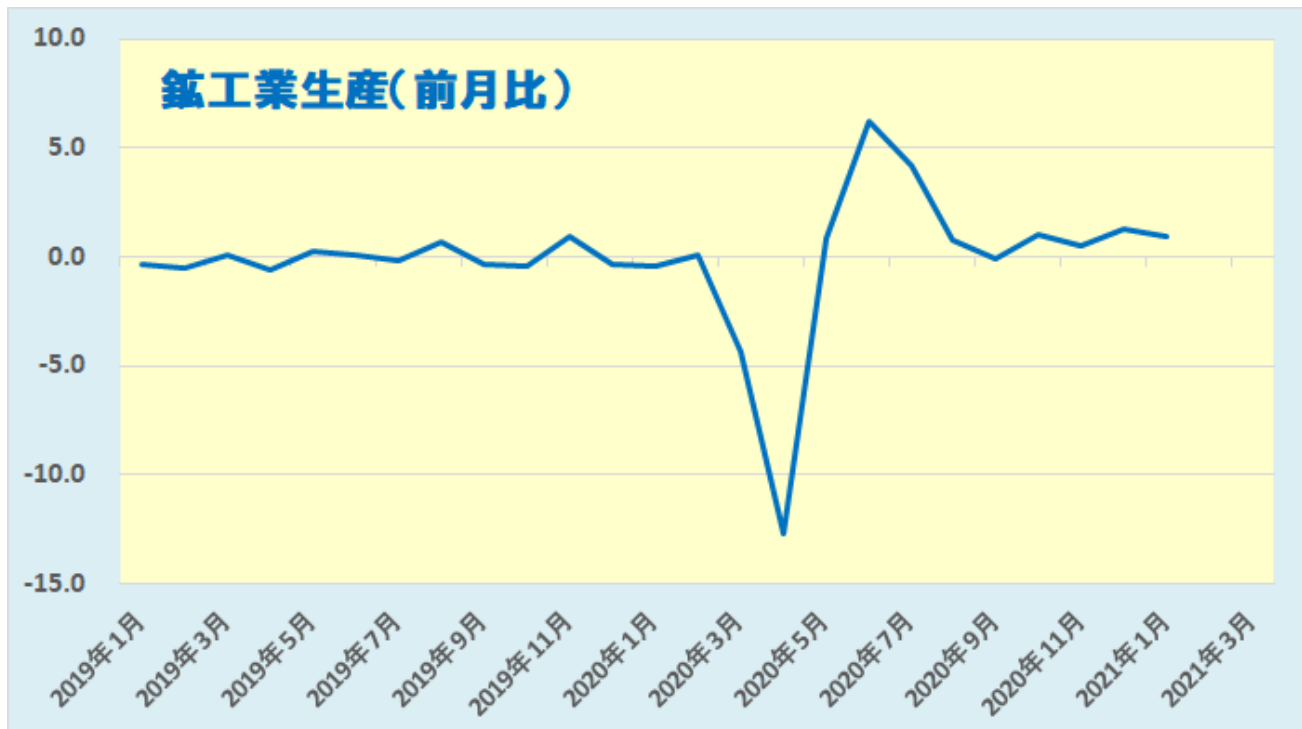


データを基に SBILM が作成

1月鉱工業生産（前月比） 0.9%（予想 0.4%・前回 1.6%⇒1.3%）

1月設備稼働率 75.6%（予想 74.8%・前回 74.5%⇒74.9%）

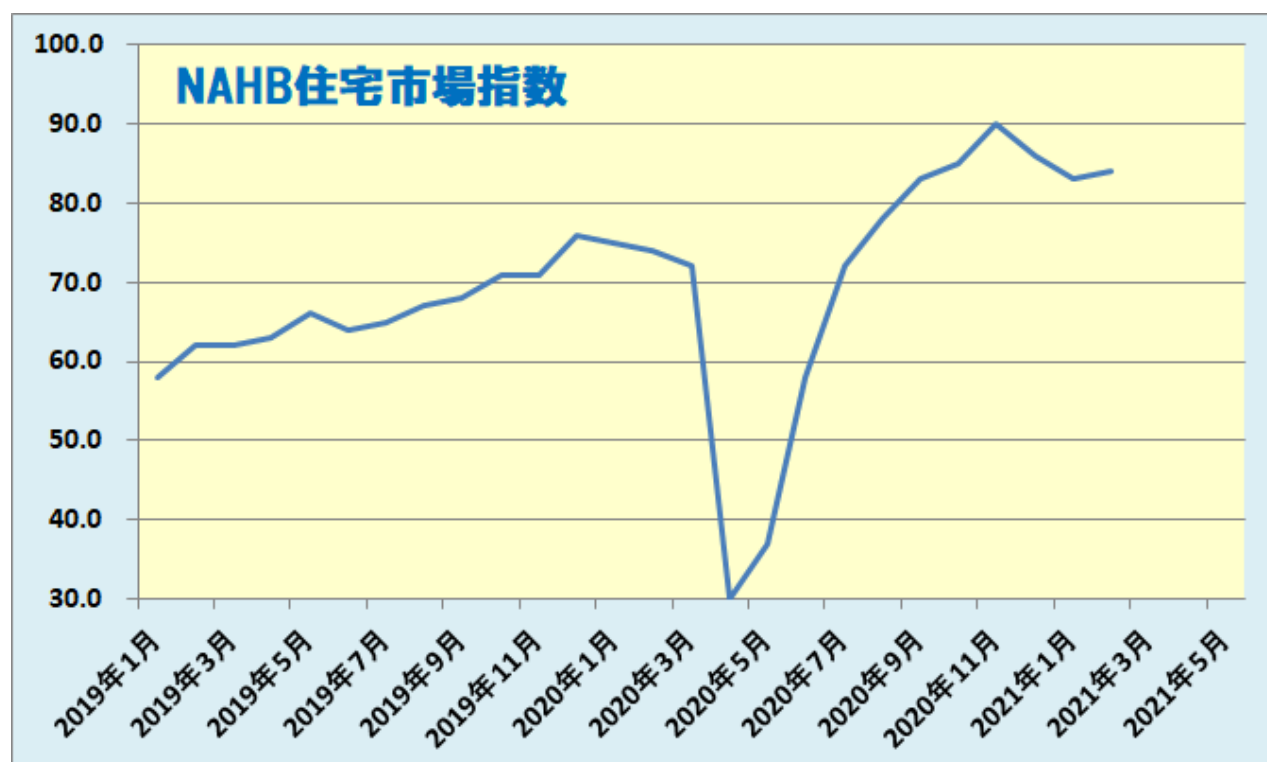
1月の米鉱工業生産は、4ヵ月連続のプラスとなったが、前年比では-1.8%だった。製造業は1.0%（前月0.9%）、鉱業が2.3%（0.7%）、公益事業が-1.2%（4.9%）だった。一方、1月の設備稼働率は4ヵ月連続の上昇となり、製造業と鉱業の稼働率は上昇したが、公益事業である電力・ガスは低下した。



データを基に SBILM が作成

2月 NAHB 住宅市場指数 84 (予想 83・前回 83)

2月の米 NAHB 住宅市場指数は、横ばい予想に反して小幅上昇となった。建設費用の高騰が需要を減速させかねない状況下でも、低い住宅ローン金利を背景に見込み客足指数は上昇した。しかし、一戸建て住宅販売の現況指数は横ばい、見通し指数は低下となった。建設資材の高騰で新築住宅価格自体が上昇していることが、最近の失速に影響しているとの指摘もあった。



データを基に SBILM が作成

FOMC の主な議事要旨

- ・ 実質的な進展には時間がかかる公算大
- ・ 資産購入変更の前にはコミュニケーションが重要
- ・ 一時的なインフレ要因に留意することが重要
- ・ 刺激策とワクチンが景気を大きく押し上げる
- ・ 中期的な見通し、声明変更に十分なほど改善

ダウは3営業日続伸、3日連続で終値ベースの最高値を更新

米株式市場では、このところの上昇を受けて、利益確定の動きが先行し、ダウ平均株価が一時前日比183ドル安まで下落するなど、主要株価指数は序盤から軟調な動きとなった。さらに、序盤に発表された米生産者物価指数や、小売売上高が予想以上の大幅な上昇となったことで、インフレへの警戒感が再燃したことも圧迫要因となった。その後、下げ幅を縮小したことに加え、FOMC議事要旨でインフレに関して一時的との見方が示されたこともあり、ダウ平均株価は終盤に120ドル高まで上昇する場面もあり、90.27ドル高(+0.29%)で終了し、3営業日連続で終値ベースの最高値を更新した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、82.00ポイント安(-0.58%)で終了し、続落となった。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	通信サービス	5.24%	1	ベライゾン	5.24%
2	石油・ガス	3.00%	2	シェブロン	3.00%
3	ヘルスケア	0.86%	3	ホーム・デポ	2.01%
4	消費財	0.54%	4	メルク	1.74%
5	消費者サービス	0.69%	5	ナイキ	1.61%

データを基に SBILM が作成

ドル円・クロス円はやや失速

NY市場では、欧州市場の流れを受けて、ドル円・クロス円は堅調な展開で始まった。序盤に発表された、1月の小売売上高が大幅上昇となり、4ヵ月ぶりのプラスとなったことや、1月の生産者物価指数が2009年12月以来の大幅上昇となったことを受けて、ドル買いが優勢となり、ドルは主要通貨に対して堅調な動きとなった。さらに、インフレへの警戒感が再燃したことで、米長期金利が上昇したこともあり、ドルは対円で一時106.21まで上昇した。ただ、東京時間に付けた106.22には届かなかった。その後、インフレへの警戒感から米主要株価指数が下落したことから、クロス円は軟調な動きとなった。さらに、1.329%まで上昇していた米10年債利回りが1.266%まで低下したことも加わり、ドル/円は105.78まで下落した。FOMCの議事要旨では、物価上昇に関しては一時的との認識が示されたこともあり、ダウ平均がプラス圏まで上昇するなど、主要株価が下げ幅を縮小し、ドル円・クロス円も底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。